

## 5 概 況

下水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の処理区域内人口が 26,325 人で、行政区内の普及率（下水道普及率）は 53.8%となっている。また有収率は 76.2%で前年度比 0.6 ポイントの減となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している（P21～22）。

経営成績を見ると、当年度純利益は 238,034,260 円で前年度と比較して 11,864,540 円（5.2%）の増となった。この主な要因は、他会計負担金の増による営業収益の増、他会計補助金の増による営業外収益の増によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している（P23～25）。

当年度の財政状況を見ると、資産は流動資産の増等により、前年度と比較して 1,182,858,458 円（4.7%）の増となっている。また、負債は流動負債の増等により、前年度と比較して 890,375,198 円（3.9%）の増となっており、資本は純利益の計上や他会計からの出資等により、前年度と比較して 292,483,260 円（11.2%）の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している（P26～30）。

下水道使用料の収入状況を見ると、現年度分の収入率は 90.3%、繰越分の収入率は 93.2%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している（P31）。